

まちの話題

このコーナーでは、催し物やまちのできごと、地域の情報等を紹介します。



河北地区



元気に
大きく
なっぺね

5月2日(水) 大川保育所

大川保育所(門馬むつ子所長、児童15人)で「子どもの日の集い」が開かれました。子どもたちは、「こいのぼり」の歌をうたったり、先生のマジックショーやパネルシアター「赤ずきん」を見たりと、笑顔で楽しいひと時を過ごしました。

門馬所長は、「お友達と仲良く、空を泳ぐこいのぼりのように、元気にいっぱい遊んでくださいね」と子どもたちに優しく語り掛けました。

雄勝地区



大須八幡神社で
3年ぶりの
神輿渡御

5月5日(土)
大須崎漁港等

大須八幡神社の例大祭で神輿渡御が催され、地区は活気付きました。例大祭は旧暦の3月15日に合わせて実施。この日は、天候不順や震災の影響で3年ぶりの開催となりました。復興元年に当たる今年、地域住民の思い入れは例年よりも強く、担ぎ手の男衆らも顔まで海水に浸かりながら高らかに掛け声を上げていました。地区の宮守宅に設けられた舞殿で神楽も奉納されました。

子育て 応援します!

河南地区



4月26日(木)
河南子育て支援
センターパプラ

スクエア子育てひろば「はじまりの会」が河南子育て支援センターパプラで開かれ、30組65人の親子が、地域のボランティアらとともに和やかな時間を過ごしました。手遊びやじゃんけん等も親子で楽しんでいました。

この日は、ぐるんぱ友の会のみなさんが、人形劇「3びきのやぎのがらがらどん」を披露。怪物トルと闘う勇敢な大ヤギの姿に、子どもたちは目を輝かせて見入っていました。

桃生地区



ガーベラ記念日

4月18日(水)
桃生町牛田地区「西條さん宅」

4月18日(水)は、4・1・8(よ・い・はな)の日です。また、この日は「ガーベラ記念日」でもあります。桃生地区は、北上川と田園風景の調和した美しい地域で、県内一の日照量で、ガーベラの栽培には非常に適しており、関東以北では最大の生産地といわれています。牛田地区にある西條さん宅のビニールハウスでは、色とりどりのガーベラがハウス一面に咲き乱れており、その美しさには魅了されました。なお、徹底した温度管理等により、一年中楽しむことが出来るそうです。

北上地区

きたかみさくら公園の
復興を願って



きたかみさくら公園

きたかみさくら公園には桜木約200本が植えられていましたが、昨年の震災の津波によって、全てが流出してしまいました。きたかみさくら公園の一日も早い復興を願い、「シャンソンを楽しむジュジュの会」(岐阜県各務原市)および「手あわせ桜プロジェクト委員会」(岩手県一関市)から、さくらの苗木をそれぞれ100本ずつ寄贈されました。今回は各団体から贈られた苗木20本を北上大橋の河川敷に仮植樹しました。今後、きたかみさくら公園の整備の際は、残りの180本が寄贈され植樹が予定されています。

牡鹿地区



牡鹿さ、ごさいくん
牡鹿半島復興祭

5月4日(金) 旧牡鹿公民館前

「牡鹿さ、ごさい〜ん牡鹿半島復興祭」が旧牡鹿公民館前で開かれました。大雨で開催が1日延期され、ステージイベントも中止になってしまいましたが、多くの人が集まり、地元の魚介類を並べた出店等を楽しみました。地区内の住民組織「がんばってっちゃん牡鹿」プロジェクト委員会が、住民自らが復興に取り組んでいこうと初開催。夜には鎮魂の思いを込めて3500発の花火を打ち上げました。

石巻地区

閉館中の萬画館をじっくり探検



5月4日(金)、5日(土)
石ノ森萬画館

復興支援感謝イベント「萬画館探検隊!!」が、石巻市中瀬の石ノ森萬画館で開かれました。震災以来、閉館中の施設に多くの皆さんが初めて訪れ館内を見学。真っ暗な館内を懐中電灯で照らしながら、トキワ荘の模型が飾られた2階の常設展示場等を歩きました。今秋のリニューアル前に多くのファンに被災状況を見てもらい、感謝を伝えたいと企画されました。



野外の遊びを満喫
「石巻プレーパーク」

5月5日(土)、6日(日) 牧山市民の森

子どもたちに野外の遊び場を提供し、生きる力を育んでもらおうと、「子どものための石巻市民会議」は、牧山市民の森で「石巻プレーパーク」を開催しました。初日は石巻地方の親子約100人が火や水、木等を使った遊びを体験しました。「火」のエリアでは、棒パンや五平餅、ベッコウあめ作り等に挑戦。子どもたちは、「煙が目にしみて痛い」と悪戦苦闘していました。